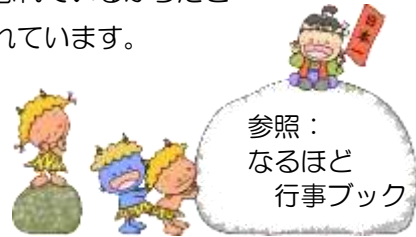




節分とは、もともと季節の変わり目で立春・立夏・立秋・立冬の前日のことを言います。暦の上では、春から新しい年が始まったため、いつの頃からか立春の前日だけが節分となり、春への折り返し目として3日ごろに行われています。神社や寺では、面を付けた鬼に向かって豆をまいて退散させる追儺(ついな)や年男たちが豆をまくところもあります。豆には、穀物の霊が宿していると考えられているからです。

鰯の頭を家の入り口に刺したり、柗の木の枝を刺したりするのは、鬼は鰯が嫌いなので逃げていくため。柗は、枝にとげがあるので鬼が恐れているからだと言われています。



♪おには そと〜 笑顔 うち〜
おには そと〜 笑顔 うち〜♪

毎日が忙しく、時間に追われていると、ついついイライラしたり、怒ったり…。そんな自分が嫌だなんて思うこと、ありませんか？ 今日という日は「今日」しかないから…。どうせ同じ一日を過ごすなら、「楽しかったな〜♪」と思う一日にしてみませんか？

全国私立保育園連盟
子育てメッセージ



たくましく、したたかに生きていく力

今年度は、コロナ感染予防対策が習慣づいているので、子どもたちは、とても手洗い・うがいが上手です。そのせいでしょうか、毎年この時期は、インフルエンザや下痢嘔吐などの感染症の流行を心配していますが、誰一人発症せず、発熱しても比較的すぐに下がり、元気に登園しています。それでも油断することなく、今まで通り感染対策を講じながら、楽しい保育を進めてまいります。

そんなコロナ禍ではありますが、1月23日に、年少さんの発表会「すいこうわくわくお楽しみ会」を開催いたしました。保護者の方は、お一人のみの参加ということにさせていただきましたが、皆さん快く応じてくださり、穏やかな雰囲気の中で、楽しく行うことができました。年少さんの大好きなお話やダンスや歌でお楽しみ会を行いましたので、ちょっぴり恥ずかしそうにしている子どももいましたが、笑顔で自信たっぷりに表現していました。4月のころよりも、運動会のころよりも確実に心も体も大きくなっていることを嬉しく思いました。

明日、1月30日は、安佐北区民センターで年中さん、年長さんの発表会を開催いたします。その日を子どもたちは、とても楽しみにしています。発表会に向けて、年中さんも年長さんも自分の出たいプログラムを自分で選んで、なりたい役も自分で決めて取り組んでいます。子どもたちは、役が決まったら、練習したいばかりです。年中さんは、あそびとあそびの合間や登園したらすぐに、鍵盤ハーモニカを出して練習していました。その片隅で、ダンスの曲が流れると、踊っている子どももいます。好きなこと、やりたいことがあると、制服から遊び着に着替えるのもあつという間です。担任は、言葉をはさむことなどほとんどなく、笑顔で見守っています。年長さんは、『すいこう虫研究所』の1年をノンフィクションの創作劇にして取り組んでいます。7月に蟬の幼虫が孵化する様子を2時間近く、じっと見守った子どもたちは、どんどん虫に興味を持ち、自分の図鑑を持ってきて、友だちと一緒に



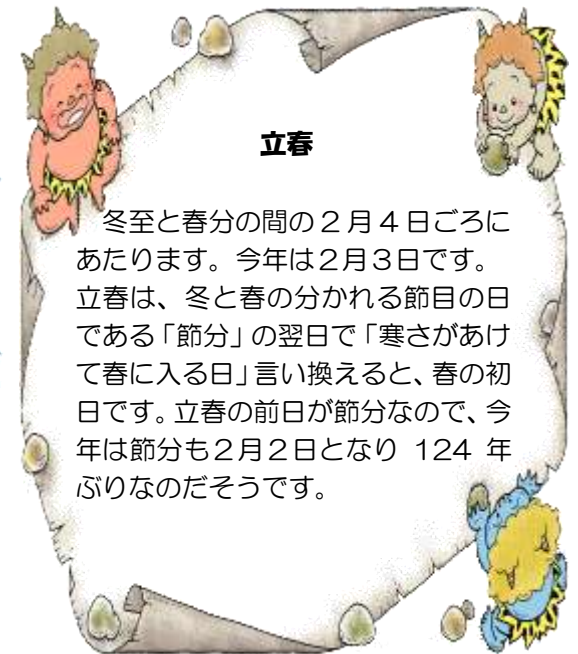
虫のことを調べたり、小さいクラスに行って、カブトムシの触り方などを教えてあげたりしてきました。また、体を動かすことの好きな子どもたちは、跳び箱や縄跳びなどを構成して発表します。練習しながら、「跳び箱4段跳べたよ。」「僕は5段。」「長縄跳びは、連続400回、新記録」など、お互いに刺激し合い、楽しんでいきます。どの子も自分の好きなこと、得意なこと、興味をもっていることを発表するので、毎日が楽しくて仕方ないようです。

すいこうでは、「できないことを見つけて、できるようにするのではなく、できること、得意なことを伸ばしていく」ことを大切にしています。興味を持っていることは、しっかりと納得のいくまで楽しませてあげたいと思っています。得意なこと、好きなことをしているときの表情は、きらきら輝いています。そういう子どもの周りには、自然と仲間が集まってきます。仲間と一緒に考えたり、工夫したりしながら、好きなことだと、うまくいなくても、最後まであきらめずに取り組むことができるのだと思います。それは、生きていくうえで絶対に必要な「最後までやり抜く力」、「人と関わる力」、「考えたり、工夫したりする力」などです。そういう力は、何が起るかわからない今の世の中を、たくましく、そしてしたたかに生きていくための力です。子どもたちのあそびを通して、しっかりと育てていきたいと考えています。

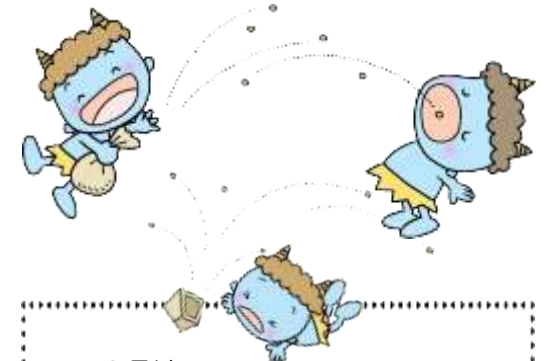
明日の発表会は、一人ひとりの子どもたちが自分の得意なことを自信をもって発表します。保護者の方には、さまざまな制限はありますが、暖かなまなざしで見守っていただければ幸いです。

2月は、子どもたちがちょっぴり怖がっている豆まきがあります。「鬼は外」の元気な掛け声で、心の中の意地悪鬼や泣き虫鬼を追い払い、マスクなしで大きな口をあけて笑い合える日が一日も早く来ること、そして、元気に過ごせることを願っています。

園長



立春
冬至と春分の間の2月4日ごろにあたります。今年は2月3日です。立春は、冬と春の分かれる節目の日である「節分」の翌日で「寒さがあけて春に入る日」言い換えると、春の初日です。立春の前日が節分なので、今年も節分も2月2日となり124年ぶりなのだそうです。



2月は
如月(きさらぎ)

旧暦2月の異名です。寒さで着物をさらに重ねて着ることから「着更着(きさらぎ)」とする説が有力です。そのほか草木の芽が張り出す月で、「草木張り月(くさきはりづき)」が転じたとする説もあります。

語源由来辞典より

